

## ハイカラな街並みが浦臼にありました

浦臼町内には今も洋風の建物がいくつかありますが、実は以前の方がたくさん建っていました。いわゆる「ハイカラ建築」で、道内では函館や小樽などの港町で多く見られます。既に除却されてしまったものがほとんどですが、以下に紹介します。  
※写真はすべて浦臼町郷土史料館所蔵

### 浦臼村の発展を支えた役場庁舎

現在の役場庁舎の1代前の庁舎で、写真①は昭和10年頃の浦臼村役場です。

平屋の木造で、本庁舎に渡り廊下を介して付属棟が繋がっています。洋風下見板張りに上げ下げ窓の外観や、三角屋根の頂部を斜めにした「ドイツ破風」が印象的です。写真では外壁の色が分かりませんが、筆者の記憶では白色だったように思います。北海道大学旧農学部の歴史的建築物と似た様式といえるでしょう。



写真① 昭和10年頃の浦臼村役場

### 役場とお揃いのデザインの消防署庁舎

写真②は大正15年に建てられた木造2階建ての消防署庁舎です。洋風下見板張りやドイツ破風が役場庁舎と共通なのは、近接して建てていたためデザインを揃えたのかもしれませんが。

正面頂部の台形形の白い塗壁は漆喰塗りと思われるようですが、これは並びに建つ旧宮本新聞店と同じ様式です。2階の窓は引き違いです。



写真② 消防署庁舎（大正15年建築）

札幌市立大学の西川忠です。ここで紹介した役場、消防署、郵便局は私もおぼろげに記憶にあります。当時はまったく意識しませんでした。こうやって過去の資料写真を見ると、浦臼にもカッコいい建物があつたんだなあと思う次第です。

### 「館」として愛されている郵便局

館のページでも紹介しましたが、昭和10年頃に建てられた木造2階建てです。当時は郵便と電話交換の業務が行われていました。

写真③のように、外壁は幅広の素地の和風の下見板張りです。一方、大きな2連の上げ下げ窓と腰折れの寄棟屋根は洋風のデザインです。

増毛街道（現国道275号）の西側に、札幌側から郵便局→消防署→役場庁舎→旧宮本新聞店が近い距離で並んだ木造洋風のハイカラ建築通りが想像できます。



写真③ 郵便局（昭和10年頃建築）  
しゅうしゃ  
瀟洒な岩村農場の邸宅

岩村農場は浦臼に入植・開墾した農場の中で最も大きな農場でした。岩村八作が明治26年に入植した後、明治30年代に写真④の邸宅を建てています。1階は和風の下見板張り、2階は漆喰塗壁に上げ下げ窓が並んだ洋風のデザインです。寄棟屋根の頂部には立派な「立物」が付いています。

浦臼で友成邸が和風住宅のお屋敷の代表格とするならば、岩村邸は洋風邸宅の代表格と言えるでしょう



写真④ 岩村邸（明治30年代建築）

第13回

うらうす夏の味覚まつり

浦臼の夏と味覚を楽しむイベントです。浦臼産黒毛和牛をはじめ、地元の野菜、加工品などが味わえます。また、参加型のイベントも多数用意されております。祭りの締めくくりに花火が打ち上げられます。町民のみなさんのご来場をお待ちしております。

8/4日

午前11時～午後8時30分

鶴沼公園イベント広場

音楽ライブ、特産品抽選会ほか

主催 浦臼観光協会

お問い合わせ

浦臼観光協会事務局（産業課商工観光係）電話：68-2114

うらうす夏の味覚まつり花火大会の寄付を募集しています

ご寄付いただける方は、観光協会事務局（商工観光係）までお持ち願います。（個人・団体・事業所等問いません。）

# えみる Vol.1

## 浦臼町社会福祉協議会から多世代交流施設「えみる」の紹介



みんなの笑顔があふれる場所「えみる」が5月2日オープンしました。

仲間やボランティアとおしゃべりを楽しむ方、屋外遊具で遊ぶ子どもたち、友達と一緒に勉強をする学生など、皆さんが自由に過ごす中で交流が生まれ、名前のとおり毎日笑顔があふれています。



元気いっぱい「カード作るー!」と集まってくる子どもたち。思い思いにメッセージを書き、飾り付けをしていました。カードをプレゼントされたお母さんからも喜びの声を聞くことができました。

今後も子どもたちが体験しながら楽しめる季節のイベント等を開催していきます。

なかよしの小さな子どもたちもお散歩の途中で遊びに来てくれます。遊んでいる子どもたちを見ているだけで皆が元気になります。



町で行っている「貯筋教室 外歩き」に参加されている方たちの待機・休憩場所として賑わいました。教室終了後も多くの方が滞在し笑い声と笑顔であふれていました。



多目的室2で評議員会を開催し、総勢30名の方が出席しました。評議員の中には初めて会場に訪れた方も多く会場内に興味を持っていただきました。



お問い合わせ 多世代交流施設「えみる」 電話：74-5151